

木更津市におけるゼロカーボンシティの実現に向けた 包括連携協定の締結について

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社（社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」）は、このたび、木更津市（市長：渡辺 芳邦）とゼロカーボンシティの実現に向けた包括連携協定（以下「本協定」）を締結しました。

木更津市は、2021 年 2 月、2050 年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「きさらづ『ゼロカーボンシティ宣言』」を表明し、ゼロカーボンの実現に向けた取組を進めています。また、人と自然が調和した持続可能な都市を構築し、それを次世代へ継承しようとする取組である「オーガニックなまちづくり」を推進しています。

本協定は、木更津市のそうした取組をさらに加速するものであり、ゼロカーボンの実現とともに、地域課題の解決を促進し、持続可能なまちづくりの実現をめざします。



（左から 東京ガス常務執行役員：小西 雅子、木更津市長：渡辺 芳邦）

【連携事項】

- （1） オーガニックなまちづくり及び SDGs の推進に関すること
- （2） 地域の脱炭素に関すること
- （3） 防災・災害対策に関すること
- （4） 学校教育に関すること
- （5） 地域の経済循環に関すること
- （6） その他両者が協議し、必要と認めること

【締結日】

2025 年 7 月 1 日

【関係者コメント】

◆木更津市 市長 渡辺 芳邦 コメント

木更津市は、2016 年 12 月に「木更津市人と自然が調和した持続可能なまちづくりの推進に関する条例」、通称「オーガニックなまちづくり条例」を施行し、この間、市民の皆さまをはじめ、様々な主体との連携のもと、持続可能なまちづくりに向けた取組を進めてまいりました。

昨年度からスタートした「第3期オーガニックなまちづくりアクションプラン」においては、「オーガニックなまちづくり」が次のステージに踏み出す重要な視点として「きさらづ地域循環共生圏」の創造を掲げ、多くの企業・団体等との共創のもと、地域の持続力を高める自然資本の再生・活用、地域の脱炭素化の推進、食料安全保障の強化等に取り組んでいるところです。

この度の協定締結により、日本を代表するエネルギーのリーディングカンパニーである東京ガスの有する知見や技術、ネットワークをお借りし、2050 年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組を加速してまいります。

◆東京ガス株式会社 常務執行役員 地域共創カンパニー長 小西 雅子 コメント

当社は、東京ガスグループ 2023-2025 年度中期経営計画「Compass Transformation 23-25」において、「エネルギー安定供給と脱炭素化の両立」「ソリューションの本格展開」を掲げ、多くの企業・自治体の皆さまとの協業を通じ、カーボンニュートラル社会の実現に向けた取組を進めております。2023 年 11 月には、エネルギーの枠を超えてお客さまが抱える課題を解決するソリューション事業ブランド「IGNITURE（イグニチャー）」を立ち上げました。

本協定の締結により、木更津市と市民・事業者が相互に協力し、当社グループが創業以来培ってきたお客さまからの「信頼」や、「地域密着力」を活かし、カーボンニュートラルなまちづくりの実現に向けて連携できることを大変嬉しく思っております。

木更津市とはこれまでも、脱炭素関連の情報提供や、環境・省エネ・防災イベントへの出展を通じて連携を深めてまいりました。今後も、木更津市との価値共創により、地域課題の解決および持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。

（参考）ソリューション事業ブランド「IGNITURE（イグニチャー）」について



東京ガスは、「ソリューションの本格展開」に向け、2023 年 11 月 30 日、ソリューション事業ブランド「IGNITURE」を立ち上げました。「IGNITURE」の下で展開するソリューションにより、ご家庭、法人、地域・コミュニティのお客さまが、「最適化による経済性・利便性・効率性向上などでさらに豊かな未来」と、「脱炭素・レジリエンス向上などでサステナブルな生活・事業」を、無理なく両立できます。

IGNITURE の詳細は[こちら](#)

以上